

民生教育委員会行政視察報告書

1 視察期間

平成30年8月23日から平成30年8月24日まで 2日間

2 視察都市

- (1) 大阪府茨木市
- (2) 奈良県生駒市

3 参加者

虫生時彦副委員長、秋山勝則委員、小栗宏之委員、戸塚邦彦委員、小柳貴臣委員、
芥川栄人委員、高梨俊弘委員、増田暢之議長

同行 鈴木利幸福祉課介護保険室長

随員 河野順一副主任

4 視察事項

- (1) 市の概況について（2市）
- (2) 待機児童の取り組みについて（茨木市）
- (3) 地域包括ケアシステムについて（生駒市）

5 考察

次のとおり

I 茨木市 人口：281,478人・面積：76.49km²（平成30年3月31日現在）

1 待機児童の取り組みについて

(1) 概要

茨木市は、大阪市と京都市の間にあり、大阪市のベッドタウンとしての性格を持つ市である。一人ひとりの子どもに応じたきめ細かい教育を行うよう、教育委員会と学校が一丸となって「一人も見捨てへん教育」の取り組みを進めており、「茨木市待機児童解消保育所等整備計画」を作成し、認可保育所等の建て替え整備をはじめ、小規模保育事業所などの整備に努めている。平成27年と28年で489人の新たな受皿を確保し、待機児童は減少傾向であるが、平成29年は58人の待機児童がいる。そのため、更に平成30年に9.7億円、31年に7.6億円かけ保育所やこども園の施設整備を行い、待機児童0を目指している。

(2) 考察

茨木市は、待機児童解消のため、「あゆみ」、「みらい」という待機児童保育室を開設している。市が運営する待機児童のための保育施設で、保育環境や保育内容は既存の認定保育所に準じており、認可保育所等の利用を希望する申込書を提出し、かつ、選考の結果、認可保育所等への入所を待機していると認められる児童が対象である。この保育所の「あゆみ」は0歳児クラスから5歳児クラス90名、「みらい」は1歳児クラスから2歳児クラス40名で、7時から19時延長保育あり、給食ありの施設だが、園庭がないという課題もある。保育士の確保にはハローワークや企業合同説明会などを開催している。また、民間活用や企業主導型保育事業にも力をいれており、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大にも力をいれている。

今後、内閣府の奨励もあり、産業振興や女性活躍推進の観点から、企業主導型保育事業が進むことが予想される。人材不足が進む事が予想される企業も、「女性活躍の推進、優秀な人事採用・確保、地域貢献、企業イメージの向上」などの観点からも企業として、一層の保育施設の整備に力をいれることが予測され、市の保育施設整備の補完として、待機児童解消の一翼を担うものと思われる。

II 生駒市 人口：120,336人・面積：53.15km²（平成30年4月1日現在）

1 地域包括ケアシステムについて

(1) 概要

生駒市の要介護認定者は4,634人、認定率14.2%であり、認定率は平成26年の15.9%から下がり続けている。

生駒市の地域包括ケアシステムの主な概要は以下のとおりである。

- ・体制づくりは、平成26年から副市長をトップとした地域包括ケア推進会議（部局横断の横串）が始まり、平成27年度からは総合事業をスタートさせている。
- ・庁内連携会議が持たれ、地域包括ケアシステム推進に向け共同体制がとられている。
- ・地域包括ケアシステム構築のロードマップが作成・公開されている。
- ・地域ケア会議は、4つの会議体にわかれている、①自立支援型のケアマネジメント検討、②個別事例の総合的な検討、③地域課題の検討、④認知症に関する課題の検討がある。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）のメニューも多様で、介護予防に関しても『集中介入期』のパワーアップPLUS教室、『移行期』のパワーアップ教室や転倒予防教室、通所サービスA、『生活期』のひまわりの集い、通所型サービスB、一般介護予防事業など状態に合わせた場が用意されている。

(2) 考察

生駒市に、地域を巻き込んで一体的に地域包括ケアシステムを推進するコツを聞いたところ、①いろいろな課や地域に職員自ら飛び込んでいくこと、②地域で推進するにあたりリーダーは作らなかつたことなどがあがった。システム構築にあたり、一体的かつ状況に応じてタイムリーに動かせる仕組み、施策に反映できる体制づくりは重要であると感じた。

本市においても2025年に向けて地域に根付いた一体的な取り組みを構築するため、ロードマップの作成および整理、庁内連携はじめ地域ケア会議の在り方等のシステム作りの見直し、総合事業など認知症予防を含めた予防事業の見直し、担当職員の更なる覚悟と地域に飛び込む姿勢が必要ではないかと感じた。

今回の視察は、現時点において理想的な地域包括ケアシステムの形が見ることができ、大変参考になり有意義であった。